

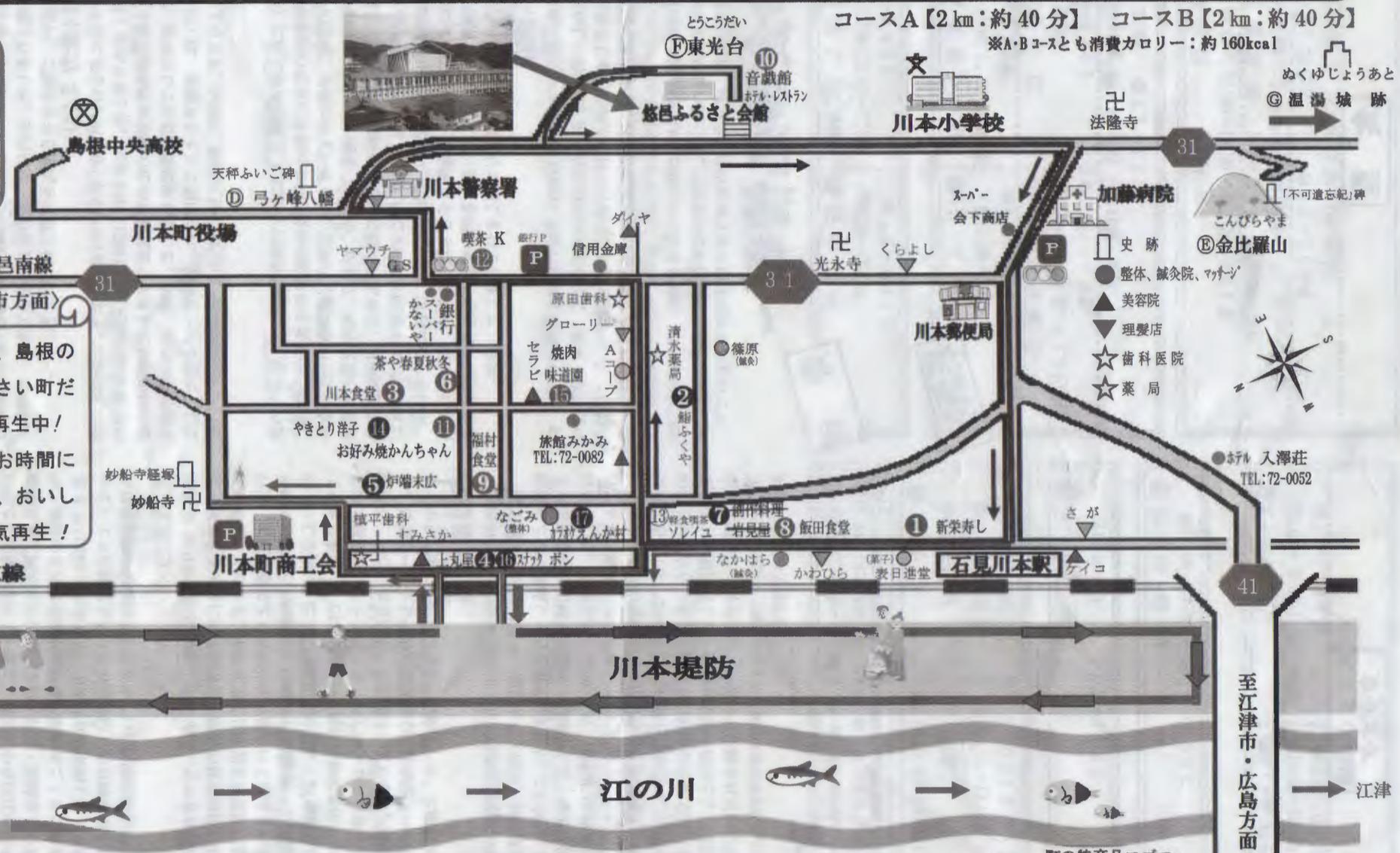
# 街中ぶらり90分案内

列車は 13:43 に発車しま〜す!

**川本町ミニ歴史**  
 戦国時代は、石見銀山攻防の要衝の地。毛利元就の元へ銀を運ぶ銀山街道はここを通り、遠く安芸の国(広島県)まで運ばれていました。

ここは川本、島根のおへそ。小さい町だが、元気の再生中! 途中下車のお時間に疲れを癒し、おいしい食事で元気再生!

ぶらり旅 旅は道づれ 世は情け 旅窓の景色は 地域の顔で人を待つ



コースA【2km:約40分】 コースB【2km:約40分】  
 ※A・Bコースとも消費カロリー:約160kcal

- 整体、鍼灸院、マッサージ
- ▲ 美容院
- ▼ 理髪店
- ☆ 歯科医院
- ★ 薬局



仙岩寺からの景色

りんりゅうざん  
**臨流山**  
 せんがんじ  
**仙岩寺**  
 江の川の対岸



**④米くい岩**  
 江の川の対岸



町の特産品エゴマの  
 えごはちゃん

至江津市・広島方面  
 R261

# ～名所・旧跡紹介～

知るとおもしろい旅の立ち寄り地“川本”  
提供 がんばれ三江線の会

## ④ 臨流山 仙岩寺

この寺は、仙岩寺山の中腹にあり天正4年(1576)に大翁全頌によって創建された“曹洞宗”のお寺です。全頌は長江寺六世で小笠原氏の流れを引いており、同寺は永禄2年(1559)に毛利氏との戦いにより焼け落ち、永禄11年(1568)に再建されました。山内には「愛宕社」が祀っており、ご神体は「勝軍地蔵」と云い、ご神体を守る神馬も安置されています。

## ⑤ 米くい岩(米カミ岩)

対岸の仙岩寺山中腹にある白い巨岩を「米くい岩」といいます。山頂には1500年代に「青岩城」がありました。永禄2年(1559)毛利元就の温湯城攻めの際、出雲の尼子晴久が小笠原加勢のため青岩城まで来ましたが江の川の増水で渡川できず、援軍なしで小笠原氏は敗れました。当時、山の中腹で樹木のない「米くい岩」は、見張り台として利用され、狼煙を上げる場所としても使われていたようです。合戦時、狼煙が上ったのかどうか興味深いですね。

## ⑥ 妙船寺

天正6年(1578)に権大僧都日願上人によって開基された“日蓮宗”のお寺です。明治5年学制の発布により川本小学校が開校されるまでの“教場”として“妙船寺の庫裡”が使われていました。江の川に橋が架かっていなかった時代には妙船寺沖に江の川を渡る“渡船場”があり、対岸交通の大動脈として長年活躍していました。当時の渡し船にはバスも乗り、対岸に渡されていた時代がありました。同寺では昔この地方に流行した病気が“三十番神”様のおかげで治ったお礼に盆明けの8月16日には“番神祭”が催され、信徒によって境内へ土俵を築き子どもたちを集め、賑やかに子供相撲が最近まで奉納されていました。男女を問わず子どもたちが相撲を取る様子は、長年にわたり地域伝統行事として親しまれていました。残念。

## ⑦ 弓ヶ峰八幡宮

『時の領主小笠原長親公が天福元年(1233)宇佐八幡宮を御勸請せられ、宮地に心を配り震らしめ給いに、折から江の川の大洪水にて“神矢一擧”流れ来たりて当地に漂着し峯の松の木に掛かりたるに依り感浅からず、“弓矢八幡”の名の如く神明この地を知らしめ給ふとて“弓ヶ峰”ぞ号し、里を“弓市”と名付け給い、この地に御社を建立せられしものなり。』(弓ヶ峰鎮座碑より) 毎年11月14日の秋の例大祭には約200kgの大神輿を始め、数台の神輿が繰り出し盛大に秋の祭典が行われ、晒して腰をかため法被姿の男衆に加え、女性や子どもも神輿を担ぎ、威勢良く弓市を練り歩く姿は勇壮そのものです。

## ⑧ 金比羅山

弓市市街の西北に位置する小高い小山の金比羅公園を眺めて下さい。町中から眺望出来る春の桜・秋の紅葉を始めとして子どもや家族での憩いの場として親しまれています。展望台からは江の川や三江線、町並みを眺めると、川本町の行政・学校・病院・福祉などの施設、商店街、石見地方独特の赤瓦の家並みなどを一望することができます。敷地内には嘉永3年(1850)の大水害で、大森代官が困窮した人々を救済した遺徳を忘れないように建立した「不可遺忘紀」の石碑等があります。この高台からは川本町が宿場町として栄えていた往時を偲んでいただけます。

## ⑨ 東光台

昭和60年(1985)から山林138aを造成してできた新興住宅街で、町並みを一望できる高台に県職員宿舎や銀行の社宅のほか住宅が建設され、街区を形成しています。地質は風化花崗岩と硬花崗岩盤により形成されていて、火災爆破により数年の年月をかけて造成されました。この地は元禄時代(1600年代後期から1700年代初頭)に“天秤輪”が当地で発明され“かなな流し”による砂鉄採取で造る“鋸製鉄”が盛んであった土地でもあります。今では東光台の一角に邑智郡文化の中核をなす1000人収容の“悠邑ふるさと会館”や“ホテル・レストラン、室内温水プール”がある“かわもと音戯館”が建設されています。特に悠邑ふるさと会館は、音楽ホールとしての評価は高く、著名なアーティストや音楽関係者の多くから“山の中のすばらしい音楽ホール”と絶賛されています。

## ⑩ 温湯城跡

市街地から南に2kmの矢谷川と会下川の合流地帯の標高200mの山頂に“温湯城跡”があります。観応元年(1350)小笠原四代・長氏が領地支配拠点として築城し一円を領有しました。この城は、20以上の郭が配置される典型的な山城で“堀切・塹壕・土塁”など防御施設が整った堅固な城でした。永禄2年(1559)5月、小笠原14代長隆が毛利主力軍の総攻撃を受けた際、対岸の青岩城(仙岩寺)まで来た援軍の尼子晴久が、江の川の洪水のため対岸から川を渡ることができず、毛利元就の猛攻撃で開城するまでの“209年間”もの長きにわたり、この地を治めた難攻不落の城として存在したことは驚きに値する史実です。また小笠原氏は、石見銀山の採掘技術と深い関わりを持つ氏族として重要な存在でした。現在でも地元で“研ぎ屋敷”の屋号も承継されていて戦国時代が偲べれます。(※車で山裾までは行けませんが、城跡は民有地であることのほか未整備のため所有者の許可が必要です。)

# ～お食事処情報～

① 新栄寿し (休) 日曜日 ⑧11:00~14:00/17:00~22:00 ☎72-0021	② 鮎ふくや ⑧16:00~23:00 ☎72-0079
--	------------------------------------

**寿司**

③ 川本食堂 (休) 日曜日 ⑧11:00~14:00/17:00~1:00頃 ☎72-1370	④ 上丸屋 ⑧17:00~23:00 ☎72-0047
⑤ ろばた焼末広 ⑧17:00~23:00 ☎72-0201	⑥ 茶や春夏秋冬 ⑧8:30~22:30 (休) 第2,4土曜日 ☎72-1452
⑦ 創作Dining 岩見屋 (休) 日曜・祝日 ⑧17:00~22:00 ☎72-1234	

**居酒屋**

⑧ 飯田食堂 不定休 ⑧11:00~14:00 / 17:00~19:30 ☎72-0412
⑨ 福村食堂 ☎72-0246 (休) 日曜・祝日 ⑧(月~金)10:00~15:00 / 17:00~19:00 (土)10:00~15:00
⑩ レストランおとぎ ☎72-3080 ⑧11:00~14:00 / 18:00~22:30 (火・水・休)

**食堂**

① 広島流お好み・鉄板焼き かんちゃん ⑧11:30~14:00/17:00~23:00 ☎72-2456 (休) 月曜日
--

**鉄板焼**

② 喫茶 K ⑧8:00~17:00 ☎72-0596 (休) 毎週日曜日	③ Café du Soleil (カフェ・ドゥ・ソレイユ) 軽食喫茶 ⑧10:30~15:00 ☎72-0013 (休) 土・日曜・祝日
--	--

**喫茶・食事**

④ やきとり 洋子 ⑧18:00~23:00 ☎72-1288
------------------------------------

**焼き鳥**

⑤ 焼肉 味道園 ⑧11:00~22:00 ☎72-0046
-----------------------------------

**焼肉**

⑥ スナック ボン ⑧9:00~15:00/17:00~0:00 ☎72-0987	⑦ えんか村 日の出 ⑧10:00~22:30 ☎72-0453
---	--

**スナック・BAR  
カラオケ**